

2017年度第4回関西学連総会 議事録

開催日時：2017年(平成29年)12月17日(日曜日) 13:30～17:00(途中中断あり)

開催会場：滋賀県湖南市 雨山研修館「宿場の里」

議事録作成者：副幹事長 藤本 拓也

出席者

遠藤 匠真	幹事長	
山本 明史	事務局長	
藤本 拓也	副幹事長	
桃本 一輝	次期副幹事長	
布施谷 綺子	広報部長	
田中 創	競技部長	
羽鳥 咲和	渉外部長	
藤澤 はる那	次期渉外部長	
松永 佳大	京都大学渉外	
稲岡 雄介	大阪大学渉外	
田沼 美来	京都女子大学渉外	
戸谷 みのり	奈良女子大学渉外代理	
玉井 晃平	神戸大学渉外	途中から参加
佐藤 和真	神戸大学渉外代理	途中まで参加

1.全日本併設セレについて

決定したこと

2018年6月17日の全日本大会に関西学連のロングセレクションを併設する(全枠併設)。
これとは別に関西インカレを関西のテレインで行う。

遠藤	以前提示した来年度の全日本併設セレの案の中から各校で話し合ってもらった内容の中から決めたい。各校の優先順位は以下の通りだった。 大阪大学 A1→C→B の順 京都大学 B→A→C の順 奈良女子大学 B→C→A1 の順 神戸大学 A1→B→C の順 京都女子大学 A1 ※ A案：全枠併設(A1：関西インカレを別に開く A2：開かない)
----	--

	<p>B 案：全日本併設セレと関西インカレの 2 レース制で選考する</p> <p>C 案：全日本併設を拒否する</p> <p>まず各校このような優先順位となった経緯を説明してほしい。</p>
稲岡	<p>阪大では、主に A 案と C 案で割れたが A 案の方が優勢であった。また、2 回セレをするのはややこしいのでやめた方がいいということで B 案は無いだろうということになった。</p>
松永	<p>京大では、まず関西のテレインが椈の湖に劣るということで C 案は無いということになった。椈の湖でセレができるのは良いが、全日本で 21A や 20E に出たい人がいることを考慮した。セレの質を保ちつつ全日本で 21A や 20E に出られるように B 案を第 1 希望とした。</p>
戸谷	<p>奈良女では、全日本が日程的に就活と被る人が出ることやアクセスのしにくさを考えて A 案を優先度 3 とした。B 案か C 案で B 案を選んだのは将来のことを考えてということだった。</p>
佐藤	<p>神大では、セレは 1 発で決めるのが一番公平だと考え A 案を第 1 希望とした。</p>
田沼	<p>京女では、OB/OG の負担が減ることや岐阜ならまだ行けるので 2 回セレする必要は無いだろうということなどを考え A 案を選んだ。</p>
遠藤	<p>C 案を第 1 希望としている大学が無いということから全日本併設はした方がいいというのが各校共通の意見のようである。ということで A 案か B 案から選ぶということによいか。</p>
	<p>特に異論は出ず。</p>
遠藤	<p>まず、奈良女の意見で出たアクセスのしにくさという面だが、それほど影響のある話なのだろうか。青山高原もアクセスしにくいはずである。</p>
戸谷	<p>電車で行けなくなるという点を考えればやはりアクセスのしにくさは考慮した方がいいのではないか。</p>
遠藤	<p>参考として、スプリントセレの参加者を 2017 年(播磨中央公園、電車ではアクセスしにくい)と 2016 年(サンシャインビーチ、電車でアクセスしやすい)で比較するとほぼ変わらず、アクセスのしにくさという点はほぼ影響しないのではないだろうか。</p>
山本	<p>OB の運営の大変さという点だが、A1 にしろ B にしろ OB は 2 回運営に関わるということで負担はあまり変わらないのではないか。</p>
松永	<p>奈良女で就活の話が出たが、このようにどうしてもその日は参加できない人を救済するためにも 2 回セレをした方がいいのではないか。</p>
遠藤	<p>そういう人のための救済策として推薦があるのでその日参加できない人を救済しようというのはあまり考慮しなくていいのではないだろうか。</p>
松永	<p>20E 権を持っている人が全枠併設だと 20E に出られないという点はどうクリアされるのか。</p>

遠藤	ある M20E 権保持者に聞いてみたところ、全枠併設の場合 20E に出場しセレクラスには出場せず、推薦で選ばれるのを狙うつもりだったということである。
松永	推薦を使う前提で考えるというのはセレ免除のようなところがあり良くないのではないか。
山本	推薦基準で 1,2 を満たして推薦を出せばほぼ通るような人で 20E 等に出たい人はあらかじめ言ってもらい、その場合もう 1 枠増やすというのはどうか。
松永	やはり推薦基準 1,2 を満たせばセレを免除すると言っているようなものではないか。
稲岡	実際のところそういう人はセレクラスに出ても上位で通るだろうし、仮に失敗しても結局推薦を使えるはずである。
遠藤	速い人を選ぶのがセレの目的なので、推薦の枠がそれでつぶれてしまうのは致し方ないのではないだろうか。 ここまで各校が考えていた A 案 B 案の問題点について話し合った。他に懸念される点が出ないなら決をとりたいがよいか。
	特に異論は出ず。
遠藤	それでは各校第 1 希望とする案を選んでほしい。
	阪大・神大・京女が A 案、京大・奈良女が B 案を選択。
遠藤	それでは A 案を採択するという事でよいか。
	各校同意。
遠藤	A 案が採択されたということで、次に A1(関西インカレを独自開催する)か A2(関西インカレを独自開催しない)かのどちらかとなる。
松永	関西インカレチャンプと全日本の 20E チャンプをともに目指している人の存在や、新歓の終わった 6 月～7 月に関西でフォレストの大きな大会が無いというのは新人の定着を考えると良くないということなどを考慮すると、A1 の方がいいだろう。
田中創	A1 だと関西インカレのチャンプをセレではないレースで決めることになる。人が来なくなって関西インカレが形骸化することはないか。
松永	新歓後の新人を定着させる時期に行われるのでどの大学も新人を引き連れて来ることになるだろう。
遠藤	京大が A1 を推しており、他大学は希望調査の時点ですべて A1 の方を選択していることを考えると全校 A1 を希望しているということになる。 それでは、A1 を採択するという事でよいか。
	各校同意。
遠藤	次に全日本とは別に独自開催することになった関西インカレの日程について

	である。以前は B 案になった場合ということで日程希望を出してもらったので A1 という条件で何か他に要望はないか。
松永	全日本の翌週だと OB などが大変なのではないか。
戸谷	試験期間とは被らないようにしてほしい。
稲岡	暑い時期は避けてほしい。
松永	全日本の前週は対策練をやりたいので避けてほしい。日程ではないが、新人を連れていきたい大会ということで新人クラスを設けてほしい。
遠藤	日程に関しては 1 月の近畿 OL 連絡会で調整することになる。今出た意見を考慮して日程を決めることになる。

2.関西ロングトレイン新規開拓について

田中創	<p>昨年、学連に多額のお金が入ったのでロングトレインを新しく関西に開拓しようということになった。しかしトレイン選定で詰まってしまって進められなかった。そんな中ある社会人クラブの人との話で新しい計画を思いついた。</p> <p>簡単に説明すると、トレイン選定や地元渉外などのトレイン開拓及びコース設定や広報などのセレクション運営を地域クラブに一任するというものである。その代わりに関西学連は NishiPRO に地図作成を依頼してその代金を支払う。当日運営には大学 OB も加わることになるだろう。</p> <p>関西学連にとってはセレクションに利用できる良質なロングトレインの著作権を持つことができる・OB の運営負担が減るなどのメリットがある。また、地域クラブにとっては、クラブ名を関した大会をニューマップで開催できる・好きな場所を O-map 化できるなどのメリットがある。</p>
遠藤	早く動かなければ NishiPRO の予定がどんどん埋まっていくので早めに決めた方がよさそうである。この計画を 1 月の近畿 OL 連絡会で提案したいので田中にこの連絡会に出てもらって説明してもらいたいと思っているがよいだろうか。
	各校同意。

3.普及部長の業務拡大について

遠藤	<p>数年前に新設された普及部長という役職だが、これは関西独自ポストでありその設置意図もよく分からない状態である。現状やるべき業務がほぼ無いという状態である。そこで今後普及部長の業務として追加したいことが 2 つある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新歓情報を蓄積/管理/分析 ・学連所有備品の管理
----	--

	<p>である。これについて現普及部長の山田に聞いてみたところ、普及部長の仕事は他のポストと比べて少なく、今後もこの役職を維持するのであればある程度の仕事量を確保するべきである。遠藤の提案した追加の業務が認められれば自分がその仕組みを作って後任に引き継ぎたい。</p> <p>との回答だった。</p> <p>他に意見はあるか。</p>
戸谷	<p>新歓合宿関連の仕事を振ってもよいのではないだろうか。</p>
遠藤	<p>たしかにそうである。</p> <p>それでは、普及部長の業務に今挙げたような業務を追加したいと思う。</p>

4.来年度スプリントセレについての連絡

遠藤	<p>来年度は OBOG でスプリントセレを独自運営できないようなので、1月の近畿 OL 連絡会で、関西パーク O でスプリントセレを行えないか打診することにする。そのためトレインや日程の希望を決める必要はない。</p>
----	--

5.トレイン基金設立について

遠藤	<p>現在進んでいるロングトレイン開拓をきっかけに考えたことだが、今後さらに新しいロングトレインを開拓するにあたってトレイン基金を作ったほうがいいのではないかと考えた。これは毎年の関西学連の収入から一部を拠出してトレインの維持管理や開拓用に貯めるというものである。</p> <p>ということで会計部長に 2013 年度以降の予算決算の資料を用意してもらったので参考にしてもらいたい。</p>
田中創	<p>NishiPRO の話によると新規ロングトレイン開拓で 150 万程度はかかる。</p>
藤本	<p>1 年で 15 万円程度は出せないと何年もかかることになる。また、会計資料を見る限りでは 1 年あたり拠出できても 5 万円程度だと考えられる。</p>
遠藤	<p>たしかにこれだと現実的ではない。トレイン基金設立について現時点では進めないことにする。</p>

6.会計規約について

遠藤	<p>学連がセレや定例戦を行うときに会計処理が生じる。このときの黒字赤字の取り扱いだが、現状では、</p> <p>定例戦の黒字→3;2 で学連と運営者が分配</p> <p>定例戦の赤字→2 万まで学連が無条件に補填、それ以上は総会承認</p>
----	---

	<p>セレの黒字→3万以内なら全額運営者、3万を超えた分は学連取扱分</p> <p>セレの赤字→学連が全額補填</p> <p>その他の事業→収支とも学連</p> <p>定例戦に関しては実施規約の中に会計に関する条文があり、セレに関しては会計報告様式の中に書いているだけである。さらに「関西学連事業申し合わせ」というセレと定例戦以外の事業を対象としたものがあり、ここには黒字赤字の取り扱いや予算案・決算の提出時期が記載されている。</p> <p>このように現状会計制度が分かりにくく運営者に不親切な状態であるので、定例戦とセレを含む一切の事業に関して会計に関する規約は関西事業申し合わせに従うということにしたいと考えている。この申し合わせの中にセレの会計処理も定例戦の会計処理も含めるということになる。これでよいだろうか。</p>
	各校異論は出ず。
遠藤	<p>次に定例戦とセレで黒字赤字の取り扱いが全く違うという件についてである。赤字に関してはセレが定例戦と違い運営者に負担させるというわけにはいかないこと、定例戦の赤字を学連が無条件全額補填とするとたとえば何台も車をぶつけたときにその赤字を大学クラブに負担させないのはどうなのか、ということなどを考えるとこのままで良さそうである。</p> <p>黒字に関してだが、これは統一してもよいのではないかと思うがどうだろうか。</p>
松永	定例戦の方に合わせると黒字額が大きくなったときに個人個人である運営者に大きな額が入ることになる。セレは参加費に関わりなく多くの参加が見込めることからこれは健全ではないのではないか。
山本	定例戦は各大学が交代でやっていること、現役学生でやっていることなどから、赤字額を出さないようにはしたいが黒字額を大きくしようとする性格のものではなさそうである。定例戦に関しては黒字額を全額学連取り扱い分としてもよいのではないか。
遠藤	確かにそうである。こうなると、規約改正の性質が変わってくるため次回総会で再び議題に挙げそこで議論することにする。

7.奥鹿野の渉外について

羽鳥	奥鹿野の渉外の結果、トレインとしての使用は渉外上できそうである。ただし、ocad ファイルが無くこのままでは事実上使えない状態なので、探している。
----	---

8.次回総会について

遠藤	次回総会は 2018 年 2 月 11 日の京大京女新人運営練大会の後に行う。この総会にはできるだけ後任を連れてきてほしい。何かあれば 2 月下旬の直前合宿中に臨時総会を開くことになる可能性がある。
----	---